

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
11	医療ソーシャルワーカー倫理綱領	・医療ソーシャルワーカーの倫理綱領の概要について説明できる。 ・保健医療における福祉的課題をもとに倫理的な行動について検討できる。	巻
12	医療機関におけるソーシャルワーカーが所属する部門の構築	・マトリクス組織について説明できる。 ・業務管理と業務評価の概要が説明できる。 ・ソーシャルワーカーの病院内での実践構造について説明できる。	巻
13	保健医療分野における専門職と多職種連携	・医療関連専門職の役割について説明できる。 (医師、歯科医師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、介護福祉士、精神保健福祉士・介護支援専門員など) ・院内連携の構造と方法について説明できる。 ・多職種チームモデルについて説明できる。	巻
14	医療資源が少なくても暮らせる地域を創る～医療ソーシャルワーカーによる地域介入～	・限りある医療資源を効果的に活用できる地域を創るための戦略を知ることができる。 ・医療ソーシャルワークにおけるコーディネート機能の実際が説明できる。 ・医療・介護連携支援センターの機能と実践が例示できる。	関 巻 建久(特別講師)
15	地域包括ケアにおける医療ソーシャルワーカーの役割	・地域医療連携(病診連携、病病連携)の概要と方法について説明できる。 ・地域包括ケアシステムにおける多機関連携の概要について説明できる。 ・全体のまとめ	巻

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験(筆記試験)80%、提出物20%等を総合的に評価する。

講義時に記載するリアクションペーパーを提出物等とし、記載内容を評価対象とする。

リアクションペーパーへの記載内容に対するフィードバックは、講義時に適時行う。

【教科書】

(編)社会福祉士養成講座編集委員会(2025)『保健医療と福祉 第2版』中央法規。

【参考書】

宮崎清恵(2025)『ソーシャルワーク実践モデルの開発 ハイリスク新生児への医療ソーシャルワーク』神戸学院大学出版会

児島美都子 監 成清美治・竹中麻由美・大野まどか 編(2020)『保健医療と福祉』学文社

西智弘編著『社会的処方: 孤立という病を地域のつながりで治す方法』学芸出版社

エイミー・C・エドモンドソン(2014)『チームが機能するとはどういうことか』英治出版

【備考】

1. 社会福祉士国家試験受験資格取得のための「保健医療と福祉」に該当する。
2. 介護福祉士国家試験受験資格取得のための「社会の理解(選択)」に該当する。
3. 教職課程(福祉)では、教科に関する科目の「社会福祉援助技術」に該当する。
4. GoogleClassroomを利用して学習課題の提示、最新情報の情報提供を行う。

【学修の準備】

1. 講義で示す次回の授業内容について、関心を具体化するとともに、専門用語を調べておくこと。(予習1時間)
2. 講義でふれる知識や情報についての復習を行うこと。(復習1時間)
3. 他の講義・演習・実習指導での学習内容と関連させ、つながりが説明できるようにすること。(予習復習1時間)
4. 講義でも紹介するが、変化する医療・福祉の政策動向について調べること。(予習復習1時間)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP4: 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【講義の受講にあたって】

1. 授業内で、他の学生との意見交換による授業内容に対する自らのイメージや考えを具体化することを求める。
2. 講義毎にリアクションペーパー（理解したこと、疑問、自ら考えたこと等）の記載を求める。
3. 受講にあたっては、「自ら感じ、考える」ことを意識し、その内容をリアクションペーパーに記載すること。
4. リアクションペーパー記載内容に対し、次回の講義で必要に応じ解説する。

【実務経験】

社会福祉士、認定社会福祉士（医療分野）、認定医療社会福祉士、介護支援専門員

【実務経験を活かした教育内容】

病院・相談機関での医療ソーシャルワーカー（社会福祉士等）としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している